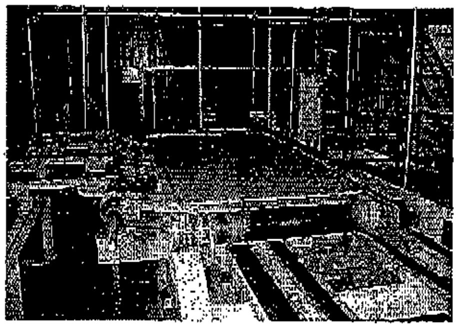
モルタル外壁パネルの一貫生産工場が竣工　豊運

プレミックスモルタル製造販売大手の豊運（大阪市、森田雄社長）は、半乾式通気モルタル工法用モルタル外壁パネル「ベースBラス」を開発、このほど京都工場の新技術センター内に量産設備を建設した。引き続き製造の完全工業化に向けた設備投資を進め、今月末には本格稼働、3月から同製品の拡販を開始する。当面、月間5万枚を生産、将来的には10万枚体制に引き上げるとともに、関東市場への対応強化に向け、第2工場の建設も視野に入れていく。

独自の通気モルタル工法で45分準耐火



△　京都工場

従来、モルタル工事はラス張りとモルタル下塗り・養生で2週間近くかかり、さらに上塗り・養生を含め約3週間を必要とした。同社では、ラスとモルタルを工場で一体化した製品ベースBラスを開発、下塗り工程が省略されることで、モルタル外壁工事は2週間程度に大幅に短縮される。

ベースBラスは、工場内で機械により水平に圧力をかけてラスとモルタルを一体化させるため、品質にばらつきがなく、ラスの裏側までしっかりとモルタルが回り、下塗り作業で現場を汚す心配がない。

またラスのジョイントは胴縁上にあるため、塗り付けが容易で、上塗り段階で不陸修正することにより、ひび割れのない高級外壁を実現する。窓などの開口部はカッターで必要サイズに切断加工することで対応できる。

製品は3×6サイズで、厚さ7ミリ、重量16キロ。ラスは940×1862ミリで亜鉛メッキ鉄鋼を使用。品質管理された軽量モルタルを紙（ターポリン紙）付き通気ラスに塗り付けて成型、硬化養生させてから30枚1梱包で出荷する。

ラスは国土交通省防耐火認定仕様に準拠、また、ベースモルタルBで上塗りする「ベースB大壁工法」（合計厚み15ミリ以上）は胴縁通気工法の国交省認定45分準耐火構造となる。この半乾式通気モルタル工法は木造耐火普及協会会員限定だが、ひび割れ及び剥離についての10年間保証制度も整備している。

京都工場は引き続き、ベースBラス製造の際に使用するステンレス側枠及び受け用合板を脱着回収、さらに再組み立てするライン（福知山重工製）を今月中旬に設置し、本格製造に移る。生産能力は月間10万枚。関東拠点工場の新設も見込んでおり、最終的には[illegible]万枚の生産を目指す。ベースBへの問い合わせは同社（電話06・6708・8132）まで。

森社長の話　昨年の住宅瑕疵担保履行法に伴い、一層確実な施工と品質保証が求められる時代となった。防水性、耐火性能に優れ、しかも大幅に施工の合理化を実現したモルタル外壁パネル工法により、高品質な木造住宅実現を目指したい。

内窓生産を増強

不二サッシ　生産ライン新たに3カ所

不二サッシ（神奈川県川崎市、吉本直史社長）は、戸建て用内窓の生産拠点を3カ所新設し、住宅版エコポイント創設による内窓の需要増に対応する。今月中に製造ラインを整備し、3月1日からの出荷を予定している。開き窓やFIX窓など品種も追加し、前年比3倍の販売を目指す。

同社の樹脂性内窓「インプラードU」は、もともと新築マンションが主な需要先で、納期が長いこともあり、海外の生産拠点[illegible]業者へのPRを進める。業務提携先の文化シャッター経由での販売や、住設機器メーカーとのタイアップも計画。販売会社には問い合わせも増えており、内窓の需要拡大に大きな期待を示す。同社は5人の専属担当者を設けるなど、販売体制を整えており、既存のマンション向けを含め、樹脂性内窓におけるシェアアップを目指す。

炭化処理材に引き合い

色ツヤ・寸法安定性に評価

＝けせんプレカット事業協組＝

けせんプレカット事業協同組合（岩手県気仙郡、佐藤賀代表理事）が開発した国産杉の炭化処理木材が色ツヤ良く、寸法安定性に優れた内装材として注目されている。専用の高温乾燥機で絶乾状態（含水率ゼロ%）まで乾燥させたのが特徴で、すでに取引先[illegible]意的な評価を受けた。

通常の乾燥以上に温度を上げるが、処理日数を減らせるため、炭化処理コストは通常の乾燥とほとんど変わらないという。接着剤を使った集成材の処理も可能で、中国のバイヤーからは集成材の柾目板の引き合いが多く、加工品でなく、炭化処[illegible]バイヤーも複数あったという。

泉田十太郎専務理事は「中国の住宅はマンションが多いが、床暖房が普及しており、寸法安定性に優れた床材のニーズは高い。燻したような色合いも重厚感を好む中国人向きで、新しい需要を開拓できると見ている」と[illegible]。

プロが選んだ―
丸十の集成材
東京・新木場 ☎03(3521)5585
FAX(3521)6730
埼玉店0484(77)1291　府中店0423(63)5585

社長に深山英世氏

レオパレス21

レオパレス21は5日、深山英世氏（みやま・えいせい）が社長に就任した。57年生まれの52歳。77年、同社入社。90年取締役、09年副社長。

北川芳輝社長は健康上の理由から社長を辞任、顧問に就任する。

NO. 2379 P. 2